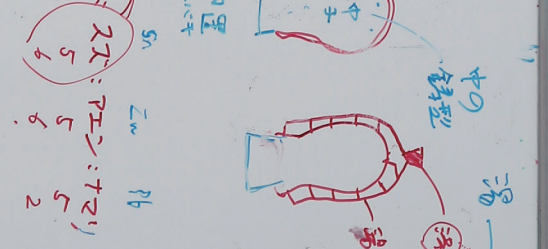
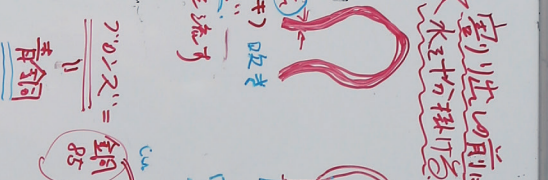
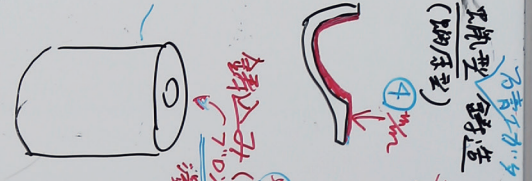
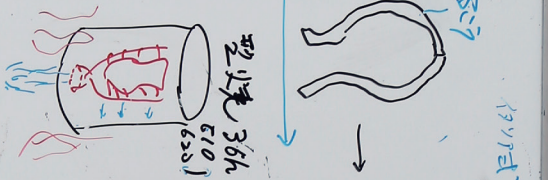


710179-2 (Sculpture) 11/10/21



65-190°C



吹風機
完成品

「彫刻とは何か？」

という問いかけは、正解のない回答への問いかけです。現在、彫刻という概念の示す領域は拡張し続けており、〈ここ〉あるいは、〈これ〉と特定できません。しかし、夢見ることができます。かつて画家のポール・ゴーギャンは一枚の絵に「我々はどこから来たのか、我々は何であるのか、我々はどこに行くのか」というタイトルを付けました。この問いかけは普遍的なものであり、私たちも、我々の彫刻はどこから来たのか、どのような心の働きの中で展開してきたのか、そして、彫刻の現在・未来はどうあるべきなのかと、問い続けなければなりません。飽くなき問いかけのみが彫刻に生命を与えます。

私たちの彫刻学科は、伝統的な素材や技術を重視しながらもその起源を問い、現在をとらえ、未知の世界の扉を開こうと努力します。彫刻を愛する仲間が集い、大いに議論し制作をしましょう。

There is no answer for the question, **'What is Sculpture?'** The concept of sculpture or its areas of interest continues to be expanded recently. The answer cannot be given clearly as 'here' or 'this'. However, we can dream about it.

Paul Gauguin titled one of his paintings, 'Where Do We Come From? What Are We? Where Are We Going?' These are universal themes; where our sculpture ideas came from, how they developed in our minds, and what sculpture should be now and in the future are questions that we also have to keep asking ourselves. These endless questions vitalize Sculpture.

Through an emphasis on traditional materials and skills, the sculpture department aims to discover the origins, apprehend the present, and make efforts to open the door to an unknown world. Please join us to produce new works and discuss intensively with colleagues who also love sculpture.



基礎課程 1～2年次 | Basic Course : 1st – 2nd year students

彫刻は「どこにもある材料」から「どこにもないもの」をつくるということが基本です。その表現の世界は非常に広い領域でそこには素材に対する感じ方や「もの」に対する考え方の違いがあるでしょう。しかし私たちはそれを超越して感動したりそれを通して世界を広げることができることが重要だと考えます。それを可能にするための実習がこの基礎課程です。造形的な基礎と自分自身の視点を探ること。この2つを私たちは表現の「基礎」と考えています。この基礎を巡る問題を様々なかたちで関わらせようというのがこの課程の特徴です。

The practice of sculpture is based on producing 'something that has never existed' out of 'existing materials'. The realm of sculptural representation has greatly expanded in recent decades; nevertheless there are differences concerning how to interpret materials and concepts which underlie art objects. Impressions which extend beyond these topics are important points and help develop the creative vision necessary to broaden the student's world. This basic course is intended to realise this process. Researching methods for representing art works and individual perspective are essential for artistic practice. This course is defined by encounters with various themes on this basis.

専門課程 3～4年次 | Specialized Course : 3rd – 4th year students

3年次からは、より自由な制作を進めるために 専門工房を駆使した制作が始まります。扱う素材ごとに7種類の工房が設けられ、そこをベースに制作します。密接にレイアウトされた工房群はムサビの特徴です。理論的にステップアップして行くカリキュラムは、専門性に対して新しい解釈を生み、深く一つの領域・素材を追求することも独自のジャンルを構築してゆくことも可能なシステムとなっています。自分の視点を探求してゆくカリキュラムを縦糸とするならば、横糸に相当するのが素材別工房による指導です。

From the 3rd year, students produce work freely fully utilizing the specialized studios. There are seven different studios, specified by the materials they are equipped for, where students may create their works. The availability of this variety of studio facilities is an outstanding feature of our university. The curriculum logically builds skills and concepts, and provides the opportunity for developing new interpretations suited to each student's expertise. Students can pursue an established area or material deeply, and/or construct a new and unique genre through this system. Students seek their own perspectives for work through the curriculum, while academic staff members provide close advice to students in each studio.



1st year

つくる、みる、かんがえる。

1年次は多様な課題が準備されています。ものを「みること」「つくること」「かんがえること」をひとつの表現の中でとらえ、それぞれの方法で自分の視点で探ってゆきます。

A variety of practices are programmed for the 1st year students. In the field of representation, students will seek their own point of view, by seeing, making, and thinking about art objects.

基礎造形 [ドローイング]



study(習作、実験) **planning**(計画、試作)

↑ ↓

Drawing

↓

creativity
(発表を前提とした創作)


●条件：用紙、サイズ、描画材不問

●提出方法：ドローイングを **10枚** 進ぶ→5/25 必登 (難払い) で研究室に郵送

●スケジュール：
5/18 | 課題説明⇒伊、富 (zoom/全員に対してレク)
5/21 | グループMTG (zoom、1グループ/講師1〜2学生7人程度⇒5グループ)
5/23 | 次週課題説明⇒伊、富 (zoom/全員に対してレク)
5/27 | ドローイング講評⇒大宇に展示、オンライン講評 / zoom

基礎造形 [身の回りの空間/モノ]

【基礎造形】
課題：身の回りにあるものを**実物大**で模倣する。



●素材：ダンボールの**空き箱**の大きさは自由 (なげ紙の空き箱) **1日1個 (計8個)**

●条件：
・空き箱を一日に一つ自由に解体し、**1日に1つ作る (計8個)**
・接着方法は自由
・模倣の表現は自由


●提出方法：
「もっとも気に入っているもの」と、
「もっともわからないもの」を、各1点を研究室に**6/9 必登**で郵送+自宅での撮影写真とデータを送信。

●スケジュール：
5/23 | 課題説明⇒伊、富 (zoom/全員に対してレク)
5/28 | グループMTG (zoom、1グループ/講師1〜2学生7人程度⇒5グループ)
6/1 | 伊美富MTG (zoom/全員)
6/4 | 伊美富MTG (zoom/全員)
6/11 | 講評⇒大宇アトリエ3教室を使用、3グループでオンライン講評 / zoom

彫刻 A [内側のかたち・空間を切り取る]

【彫刻 A】 **内側のかたち・空間を切り取る**

●課題
身の回りの空間を掘取り、いくつかの断片を作る⇒それを組み合わせて閉じた立体を作る

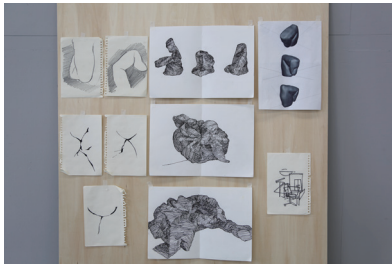
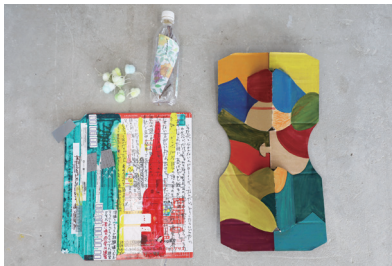


●素材=紙 (雑誌、新聞紙など) による「掘り子」

●サイズ=可能な限り大きなものを作ってみる

●提出方法=大宇で展示⇒7/9 講評

スケジュール
【⇒6/28 授業のパーツを配る (合体作業も可)】
6/15 | MTG (全員)
6/18 | MTG (1グループ/講師1〜2学生7人程度⇒5グループ)
6/22 | MTG (全員)
6/26 | MTG (全員)
6/29 | 二上、大宇でパーツを合体させる (型どり作業も可) / zoom
6/29 | MTG (全員)
7/2 | MTG (1グループ/講師1〜2学生7人程度⇒5グループ)
7/6 | MTG (全員)



基礎課程 1年次 The First Year / Basic course

▶ 前期 First semester

基礎造形
Basic modelling
↓
彫刻 A
Sculpture A
↓
彫刻 B
Sculpture B

表現基礎
Basic Expression Method

▶ 後期 Second Semester

造形基礎・選択
[油絵・版画・日本画・彫刻]
Oil paint, Print, Japanese paint, Sculpture
↓
造形総合科目
Integrated modelling course
↓
造形総合科目
Integrated modelling course
↓
造形総合科目
Integrated modelling course

他領域の授業を受講
Participate in lectures on other subjects

2nd year

自分でカリキュラムを組んでみる。

2年次は全て選択制のカリキュラムです。自分でカリキュラムを組んでみましょう。
様々な素材と向き合いテーマや技術を絞り込んだ密度の高い実習がはじまります。

All classes are elective for 2nd year students. Students plan their own curriculum. During this time, higher practical work including encounters with various materials starts and focuses on themes and skills.

抽象彫刻のABC [A]

【彫刻 D+E】
抽象彫刻のABC Jean **A**rp
Constantin **B**râncuși
Anthony **C**aro

3人の彫刻家 (Jean Arp/Constantin Brancusi/Anthony Caro) を取り上げ、作品の造形的特徴より、彼らのドローイングから読み取れた空間、使用材料など、制作のバックグラウンドを探ることに焦点を当て、この実習は3種類の課題を設定する。各自のアイデアを表現し、その制作の意図やプロセスを説明することによって、より深い理解とより洗練された表現の可能性を探ること、自身の制作の意図や課題を明確にするの両方を行うことを目指す。

●課題1: 「抽象彫刻のA: 写真を基にして形体を導き出す方法を考える実習: ルールを設定する」
内容: アルプの方法論から課題を設定し実習する

- 1 写真で実際に写真を1枚撮る→研究用にデータを整理→テーマをピックアップして取り出す
- 2 撮影された写真 (顔以外の部分) を取り写してコピー一枚→顔を黒く塗りつぶす (サムエッセ) を見つけて方法を模索する→彫刻を完成させる
- 3 そのサムエッセを基にして立体を作る*

●提出方法: 6/2 必着で郵送→6/4 に講評

●2週間追加実習期間にシリコンで複製し、ポリステル樹脂で再成型する。

●スケジュール: 5/18 | 課題説明 (アルプ) zoom/全員に対してレク
5/21 | グループMTG (zoom, シラブ) グループ/講師1→2年生7人程度→5グループ
5/25 | MTG (zoom/全席)
5/28 | グループMTG (zoom, 1グループ/講師1→2年生7人程度→5グループ)
6/1 | MTG (zoom/全席)
6/4 | 講評→大卒アトリエ3教室を回覧、3グループでオンライン講評/zoom
6/5 | 林奉行レクチャー「A (アルプ) について」(予定) / 録画配信

抽象彫刻のABC [B]

【彫刻 D+E】
抽象彫刻のABC Jean **A**rp
Constantin **B**râncuși
Anthony **C**aro

3人の彫刻家 (Jean Arp/Constantin Brancusi/Anthony Caro) を取り上げ、作品の造形的特徴より、彼らのドローイングから読み取れた空間、使用材料など、制作のバックグラウンドを探ることに焦点を当て、この実習は3種類の課題を設定する。各自のアイデアを表現し、その制作の意図やプロセスを説明することによって、より深い理解とより洗練された表現の可能性を探ること、自身の制作の意図や課題を明確にするの両方を行うことを目指す。

●課題1: 「抽象彫刻のB: ルールをくみつける」
内容: フランクラーの方法論から課題を設定し実習する

- 1 道の入り口のみからフェスの6種類のキャラクターに相当するものを発見→写真データ
- 2 そのうちのひとつをテラコッタで制作* (厚さ30mm程度)
→テラコッタの質感・構成
- 3 提出: 6種類のキャラクターのデータ (写真) + テラコッタ作品

●提出方法: 7/9 に試練展で講評

●スケジュール: 6/22 | 課題説明 (フランクラー) zoom/全員に対してレク
6/25 | グループMTG (zoom, 1グループ/講師1→2年生7人程度→5グループ)
6/29 | テラコッタ実習 (試練展)
7/2 | テラコッタ展覧 (試練展)
7/6 | テラコッタ展覧 (試練展)
7/9 | 講評 (試練展で対面講評)
7/11 | 林奉行レクチャー「B (フランクラー) について」(予定) online 授業/録画配信

抽象彫刻のABC [C]

【彫刻 D+E】
抽象彫刻のABC Jean **A**rp
Constantin **B**râncuși
Anthony **C**aro

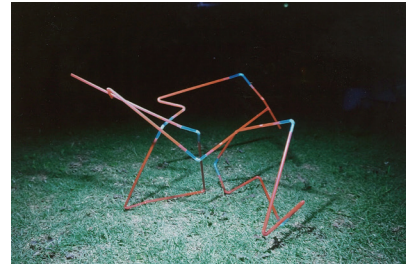
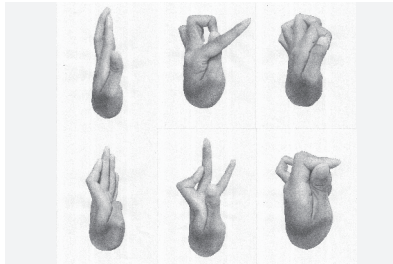
3人の彫刻家 (Jean Arp/Constantin Brancusi/Anthony Caro) を取り上げ、作品の造形的特徴より、彼らのドローイングから読み取れた空間、使用材料など、制作のバックグラウンドを探ることに焦点を当て、この実習は3種類の課題を設定する。各自のアイデアを表現し、その制作の意図やプロセスを説明することによって、より深い理解とより洗練された表現の可能性を探ること、自身の制作の意図や課題を明確にするの両方を行うことを目指す。

●課題1: 「抽象彫刻のC: ルールを再解釈する」
内容: カロの方法論から課題を設定し実習する

- 1 5文字以内で必ず書く (課題は自由) 条件、状況についてはオリエントで説明
- 2 文字を、様々な方法で立体化し、文字の意味を「立たせる」*
- 3 様々な角度から写真を撮る→3点撮影、2L版の印刷にプリント
- *文字と文字を必ずどこか繋いでいる

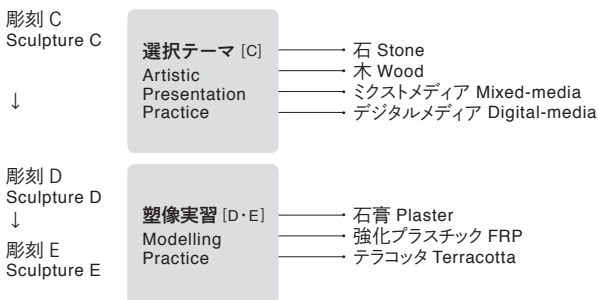
●提出方法: 3で撮った写真 (2L版×3枚) を6/18 必着で郵送→6/19 に講評

●スケジュール: 6/8 | 課題説明 (アンソニー・カロ) zoom/全員に対してレク
6/9 | MTG (zoom/全席)
6/19 | 講評→大卒から3グループで対面講評/zoom
6/20 | 林奉行レクチャー「C (カロ) について」(予定) 遠隔授業/録画配信



基礎課程 2年次 The Second Year / Basic Course

▶ 前期 First semester



▶ 後期 Second Semester



3rd year

専門工房を駆使した制作。

3年次は素材やメディアに対する固有の探求のはじまりです。前半はイメージの実現化を目指し、後半は自己の制作を分析し展開する可能性を探り、表現力を深めてゆきます。

The 3rd year is the start of individual research on specific materials and mediums. The curriculum aims to deepen students' understanding of expressiveness, materializing their images in the first semester, and analyzing and exploring further possibilities for the development of their own works in the second semester.

彫刻 H [プランニング/エクササイズ]

【彫刻 H】 プランニング / エクササイズ



●課題：
これから作ると思うものの**試作や習作**、あるいは**作ると思うもののヒントになるようなもの**をできるだけ多く（少なくとも**3つ以上**）制作し、プレゼンテーションする。





●使うもの：
粘土、紙、石、ダンボール、割り箸、空き箱、針金、ゴム紐、ポリ袋、梱包材、役に立たない既製品、各種テープ、各種接着剤及び接着機材、ハサミ、カッターナイフ、ひも、金属板、ブロンズ、木材、各種根板、石膏、彫刻刀、水、布、ホチキス、溶接機材、その他身の回りにあるものを自由に使う。

●スケジュール：
5/19 | 課題説明 (zoom/全員に対してレク)
5/21 | グループMTG (zoom, 1グループ/講師1-2 学生7人程度=5グループ)
5/25 | MTG (zoom/全員)
5/28 | グループMTG (zoom, 1グループ/講師1-2 学生7人程度=5グループ)
6/1 | MTG (zoom/全員)
6/5 | 講評=5グループでオンライン講評 (自宅) / zoom

彫刻 I [素材と形態/四元素]

【彫刻 I】 素材と形態 / 四元素

●課題：
『素材と形態/四元素』のテーマは、物質（自然）の秩序と人間が作る**“かたち”**との関係である。
『四元素』は、物質が有する3つの相、**気体=空気・液体=水・固体=土**、これらの相転移に介入する**熱=火**として解釈することができる。
・これらの物理的現象を、視覚させたり、代理（表現）するものとして、彫刻Hのプランを作り直し、あるいは新たなプランや課題を考えて、制作する。
・成果物の外見にそれらの相を出現させる必要はないが、できるだけ身近な素材によって複数の相を活用することを目的とする。

●スケジュール：
6/8 | 課題説明 (zoom/全員に対してレク)
6/12 | MTG (zoom/全員)
6/15 | MTG (zoom/全員)
6/18 | グループMTG (zoom, 1グループ/講師1-2 学生7人程度=5グループ)
6/22 | MTG (zoom/全員)
6/25 | 講評=MTGの5グループで連環講評/zoom

彫刻 J [リプロダクション/反復]

【彫刻 J】 リプロダクション / 反復

●課題：
『リプロダクション/反復』の課題は、“**かたち**”を複製することである。
1: 彫刻Hで作った作品の中から一つを選び、まずはそれを同じ材料で機械的にコピーする作業を何度か繰り返し、〈複製存在することまで一つの作品〉を制作する。
2: その後で、サイズを変え、材料を変えて“同じこと”を繰り返す。あるいは、記憶によって“同じもの”を作る作業を繰り返す。
3: 講評までに、可能な限り“反復”を実践する。




●提出方法: 7/24に課題展で講評

●スケジュール：
6/27 (土) | 課題説明 (zoom)
7/6 (日) | MTG (zoom/全員)
7/13 (日) | MTG (zoom/全員)
7/20 (日) | MTG (zoom/全員)
7/24 (金) | 大卒トピエホで課題展

彫刻 H



彫刻 I



専門課程 3年次 The Third Year / Professional course

▶ 前期 First semester

彫刻 H
Sculpture H
↓
プランニング エクササイズ
Concept making

彫刻 I
Sculpture I
↓
素材と形体
Material and Form

彫刻 J
Sculpture J

▶ 後期 Second Semester

彫刻 K
Sculpture K
↓
形象と媒体
Figure and Medium

彫刻 L
Sculpture L

表現演習 I・II
Practice for artistic presentation I・II

4th year


自在な制作活動へ。

4年次はこれから社会に対して表現を生み出してゆくはじまりです。これまで培ってきた表現力の展開を社会的に公開する方法を通して追求し、自立して制作してゆく基礎を構築します。

This year represents the beginning of the student's career as an artist in society. Students attempt to perfect the expressive methods obtained during the previous three years and develop them further in order to build a base for working independently as an artist,

彫刻 M [逸脱—ちゃぶ台]

【彫刻 M】 逸脱



●課題：『逸脱—ちゃぶ台』
実際の空間で展示ができない、<工場で制作ができない=事故>を状況の『逸脱』と捉え作品を制作する——その作品の展示

●条件 1：ちゃぶ台置 / ちゃぶ台のスケールを展示空間とする。
各自の室内のテーブル部屋の一角、椅子の上などに展示することを前提に、作品を制作する。

●条件 2：web 上のグループ展
並行して、制作した作品を展示するためのグループ展を web 上で開催する
『逸脱—ちゃぶ台』展を web 上で行うことを目的に、学生同士でも MTG を重ねる

●提出方法：講評時、各自の展示をオンラインで提出

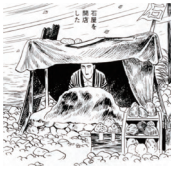
●スケジュール：
5/19 | 課題説明 (zoom/ 全員に対してレク)
5/21 | グループ MTG (zoom, 1 グループ / 講師 1 ~ 2 学生 7 人程度 = 5 グループ)
5/25 | MTG (zoom / 全員)
5/28 | グループ MTG (zoom, 1 グループ / 講師 1 ~ 2 学生 7 人程度 = 5 グループ)
6/1 | MTG (zoom / 全員)
6/5 | MTG (zoom / 全員)
6/11、12 | 講評 = 2 グループで遠隔講評 / zoom

彫刻 N [場と空間]

【彫刻 N】 場と空間

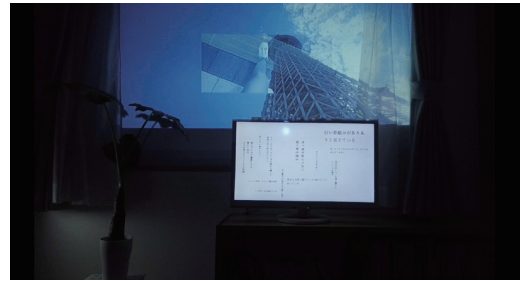
●課題：『場と空間』
『展覧会 (人が関わる場)』を創出することを念頭に作品を制作する

①新作を 1 点以上加えること。
②個展でもグループ展でも可。
③武蔵美構内で『展覧会』を行うこと。ただし展覧会の形態は自由。



●提出方法：武蔵美構内での『展覧会』

●スケジュール：
6/15 | 課題説明 = 伊、真、黒、(zoom/ 全員に対してレク)
6/18 | MTG (zoom / 全員)
6/25 | グループ MTG (zoom / 1: グループ講師 1 ~ 2、学生 7 人程度)
6/29 ~ 7/22 | 対面授業での個別指導
7/23 | 展示準備
7/24 | 5 ゲームに別れて武蔵美構内で講評



専門課程 4 年次 The Fourth Year / Professional course

▶ 前期 First semester

彫刻 M
Sculpture M
↓
彫刻 N
Sculpture N

逸脱
Departure

▶ 後期 Second Semester

卒業制作
Preparation for Degree Show

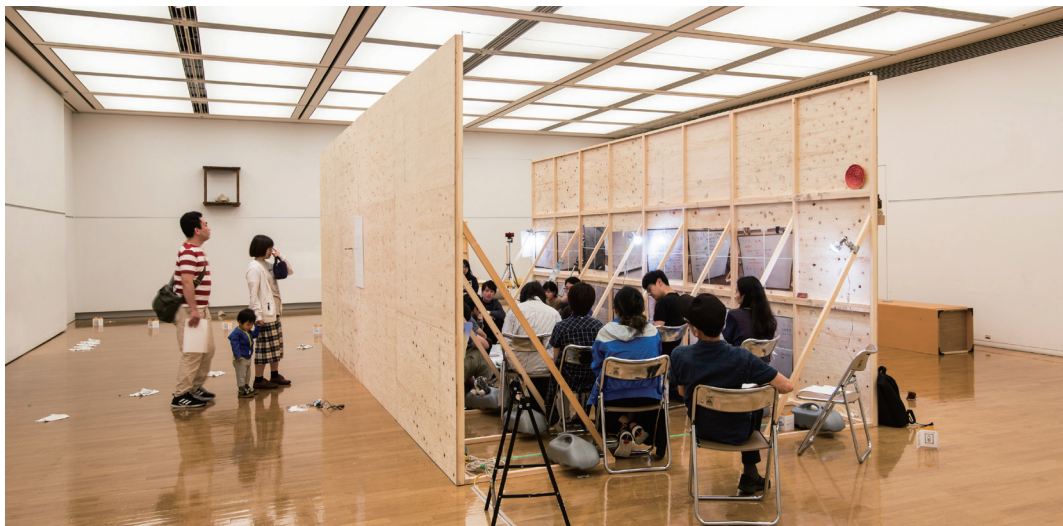
卒業制作
Preparation for
Degree Show

Master's Degree

大学院造形研究科彫刻コースは対外的な発表も含め、実際に社会に対して表現を発信して行く場です。専門的な個人指導に加えて、国内外で活躍する作家、研究者による理論と制作両面のゼミが計画的に行われます。また専門性を高めるために他の領域とのプロジェクトも計画的に行われ、自立して制作研究を行うことを目指します。

またその後の進路として、より開かれた環境で様々な学科の指導を受けられる博士の学位を目指す大学院博士後期課程も設置されています。制作と理論の両面でムサビの全てが活用され、きびしい批評のもとに学位が認定されます。

The Postgraduate (Master's Degree) course in the sculpture department provides students with an opportunity to present their artworks to society through exhibitions. Individual tutorials relating to specific areas of expertise, as well as seminars about theory and fabrication led by professional artists and researchers who are active domestically and internationally, are provided. In order to deepen expertise, joint projects with other academic areas are also developed, and students aim to produce and research independently. For further progress, students can enter the Postgraduate (PHD) course. Accessing all facilities at Musabi for both theory and fabrication, students are assessed strictly and earn the highest academic degree.



大学院博士前期課程

▶ 1 年次 The First Year

彫刻研究 I
Sculpture Research I



彫刻研究 II
Sculpture Research II

▶ 後期 Second Semester

彫刻研究 III
Sculpture Research III



修了制作
Preparation for Degree Show

Practice for artistic presentation

表現演習

表現は「場所」と無関係ではない。

新型コロナウイルスに伴う対応からオンライン授業 / 自宅制作となった2020年前期の表現演習は「スタジオ訪問」。

作家のスタジオを訪問し、そのこだわりや過ごし方、作品への影響をインタビュー。

〈スタジオ=表現が生まれる場所〉について考察していく。

戸谷 成雄



伊藤 誠



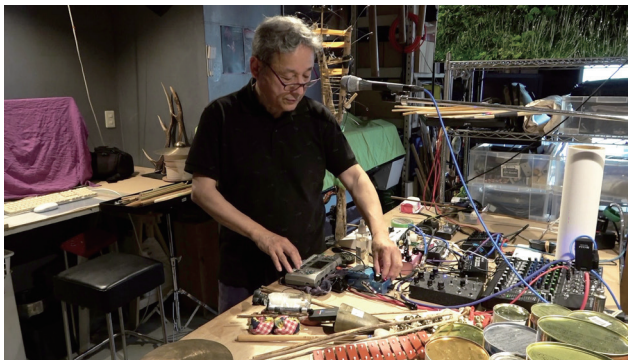
棚田 康司



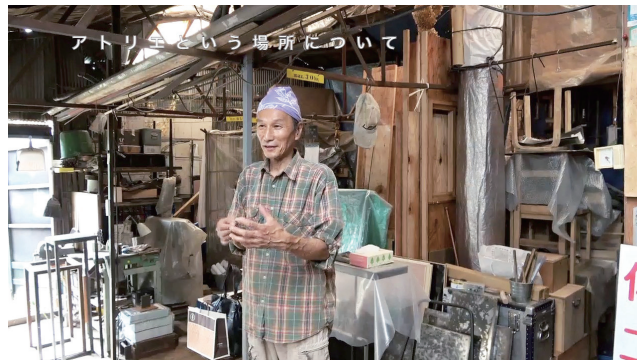
細井 篤



多田 正美



吉川 陽一郎



3F



ミクストメディア工房 [2号館 301]
ミクストメディアには「複合的な素材」と「複数の表現媒体」という二つの意味があります。ここではワックスやテラコッタを含むさまざまな材料に対応できる広いスペースと集塵・排煙設備を備え、多様な制作を可能にしています。

Mixed-media studio [Building 2-301]

Mixed-media means 'multiple materials' and 'multiple mediums'. In this spacious studio, students can access a variety of materials including wax and terracotta. Dust collection and smoke extraction systems facilitate the comfortable production of many kinds of artwork.



プラスチック工房 [2号館 303]

ポリエステル樹脂を中心とした化学素材を扱う工房です。有機溶剤対策として、吹き出した空気を強制的に吸い込み換気する「Push-pull 式」の強力な換気システムを備えています。いわば工房全体が巨大な換気管となっています。

Plastic studio [Building 2-303]

This workshop is for students who work with mainly polyester resin and other chemicals. To avoid organic solvent poisoning, 'Push-pull ventilation' is installed. The entire studio acts as a ventilation duct, pushing dirty air from one side and pulling fresh air from the other



塑像工房 + 基礎課程工房 [2号館 304、306、309、310、312、313]

採光の美しい工房です。粘土槽を移動できるなど、目的に応じたフレキシブルな制作の展開が可能です。

Modelling /basic process studio [Building 2-304, 306, 309, 310, 312, 313]

These spaces have beautiful natural light, and students can customize them for different purposes. Clay storage containers are movable.

2F



デジタル工房 [2号館 212] PC ルーム

数台の PC、3Dプリンタ、レーザーカッター、コンピュータ制御による3Dルータなどの設備を備え、PCからの3D出力や、映像的なアプローチが可能であり、彫刻の新しい可能性が模索されています。

Computer studio [Building 2-212]

State of the art equipment including computers, 3D printers, a laser cutter, and a computer controlled 3D router (CNC), enable digital production and fabrication. It's a place for exploring new technical possibilities for sculpture.

1F



木彫工房 [2号館 101]

8センチの厚さの床材でフローリングされている美しい工房。床面は単にきれいなだけでなく、木材というデリケートな素材を保護するクッションにもなっています。2基のクレーンと集塵装置の他、様々な木材の加工機器も完備された工房です。

Wood carving studio [Building 2-101]

A wooden floor made of 8 cm thick timbers makes the space beautiful and also functions as a cushion to protect the delicate wooden materials. Two cranes, a dust collector, and various fabricating tools and machines make the studio extremely well-equipped.



金属・セラミック工房 [2号館 102]

鉄やその他非鉄金属の加工や鋳造、セラミックの焼成など、重機や火気を使う制作のための複合工房。天井高10メートル以上の巨大空間が自慢です。

Metal and ceramic studio [Building 2-102]

This multiple workshop is for managing heavy equipment and heat used when working with iron, non-ferrous metal, and ceramics. This huge space has a ceiling height of 10 meters!



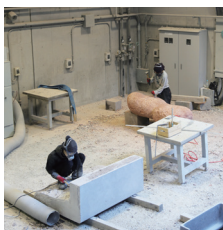
セラミック焼成窯

1250℃の本焼きができる窯は、高さと横幅それぞれに対応した2種類の大きなガス窯です。等身大の作品もそのまま焼くことができる大きな窯です。電気窯も大中小の3種類あり、合計5基が設置されています。

Ceramic firing kiln

There are two large gas-firing kilns available for glazed firing which can reach temperatures up to 1250 degrees Celsius. They are large enough to accommodate a full-size life model. Three additional electric kilns in different sizes bring the total to five kilns to suit different needs.

B1



石彫工房 [2号館 B101]

吹き抜けに備え付けられた大きなクレーンで、石材をトラックから直接工房に搬入できます。また工房内には搬入用とは別に、動きのスムーズなインバータ式クレーンも設置されています。重量物を移動させやすく女性にもやさしい工房です。強力な集塵設備はもちろん、シャワー室も隣接しています。

Stone carving studio [Building 2-B101]

A large crane in the open-ceilinged space enables stones to be moved directly from trucks to the working floor. An easy-to-use inverter crane makes it possible for anyone to move stone materials around the studio safely and smoothly. A strong dust collection system and adjoining shower rooms are also provided.

Q&A

Q. ムサビの彫刻学科は「現代美術」を中心に教えていると聞きましたが本当ですか？

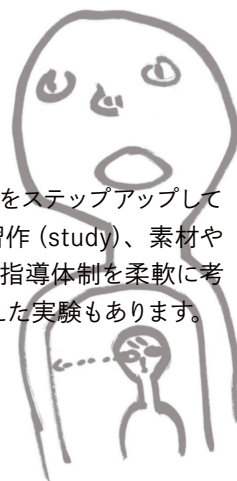
A. ムサビの彫刻学科の場合は表現のスタイルではなく、目的を定めた「追求の方法」をステップアップしてゆくカリキュラムです。ここでは、独自性の追求 (originality)、専門的な探求と習作 (study)、素材や表現の実験 (exercise) など、各自が焦点を絞った表現の探求を行い、そのための指導体制を柔軟に考えています。その中には伝統的な彫刻の専門的な探求もあれば、彫刻の範疇を超えた実験もあります。

Q. みんな作家を目指しているのですか？

A. ムサビの彫刻学科には、色々な地域から実に様々な人が来ています。熱く彫刻を語る人もいれば、冷めた目で見ている人や、もちろん彫刻の嫌いな人もいて、そんな人たちが互いに影響を与え合うようなカリキュラムを作っています。それが作家を生み出す環境だと信じています。

Q. ムサビの彫刻学科を卒業すると、何ができるようになりますか？

A. 実際に自分の手で、様々な道具を使って、ものを生み出すことができるようになります。ムサビの彫刻学科には様々な素材を研究する独自の7種類の工房が設けられています。それらの工房を駆使してものを考える経験を積み、様々な環境や状況の中で、自由にものを作ることを可能とします。



2021年度入学試験

●入学試験の詳細については、各募集要項をご確認ください。

●大学全体の活動や最新イベント情報・入試情報については、大学ウェブサイトをご参照ください。 <http://www.musabi.ac.jp/>



募集人員
一般方式 ……14名
共通テスト2教科+
専門試験方式…7名

募集人員 ……5名

募集人員 ……5名

募集人員 ……若干名

募集人員 ……若干名

Q&A

入試編

Q. 入試が多様になってきておりますが、その理由はなんですか？

A. 新しい世代の作家を育成してゆくための理想的な教育環境を作ってゆくことは、今の私達の急務です。入試問題はこれまでと同じく入学後の研鑽に必要な能力を問うものですが、受験生の資質と可能性をより開かれた条件の中で受け入れるため、この改変を行いました。入学実技試験として要求している「根気よくものをみること」という基本的なところはこれまでと変わりません。

Q. 〈デッサン「A」〉ではどんなことを求めていますか？

A. 〈デッサン「A」〉は人体をモチーフとしたデッサンで、「静止ポーズ」あるいは「ムービングポーズ」のいずれかとなります。まず、生身の人間が目の前にいてそれを人に伝えることを念頭に置いてください。その上で人体のフォルムと構造を理解し端的に表現できるか、が第一に挙げられるでしょう。人体は複雑な構造をしています。それに対してどれだけ粘り強い観察と描写がなされているかを問います。

Q. 今年も「静止ポーズ」でしょうか？

A. はい。今年のデッサン「A」も「静止ポーズ」です。しかし、動いていても静止していても人体の「フォルム」と「構造」は変わりません。二つを意識するようにしましょう。この意味でも可能であれば「塑造」のトレーニングはとても効果的だと思います。

Q. 〈デッサン「B」〉はどんなことを求めていますか？

A. 〈デッサン「B」〉は静止した自然物あるいは人工物をモチーフとしたものです。この中には石膏像や、卓上に置かれて触ることのできるモチーフにおける設問もこの範疇に入れています。この試験では、空間、ボリューム、フォルム、構造等の造形的な要素の解釈に基づく基礎的な描写力を求めます。

過去の主な就職先

アートクリエイティブパートナー / 飯田産業 / インフィック / Mテック / ガイナックス / 金井大道具株式会社 / コーエーテックモホールディングス / 小西美術工藝社 / コロプラ / コンデックス / さくらほりきり / サン電子 / シミズオクト / ジャック・オブ・オール・トレーズ / 昭栄美術 / JMC / スズキ / 清美堂真珠 / 株式会社任天堂 / 大自然生活館 / 大成建設 / ディンプス / 東宝美術 / 日産自動車 / 日本美術工芸 / バンダイナムコグループ / パンク・オブ・イノベーション / 美術院 / ビームス / 平和マネキン / ボークス / 本田技研工業 / リーメント / リンク・セオリー・ジャパン 他

過去の主な進学・留学先

武蔵野美術大学大学院美術専攻彫刻コース
愛知県立芸術大学大学院美術研究科彫刻領域
京都市立芸術大学大学院美術研究科彫刻専攻
東京藝術大学大学院美術研究科工芸専攻 鑄金研究室
東京藝術大学大学院美術研究科彫刻専攻
東京藝術大学大学院美術研究科文化財保存学専攻 保存修復彫刻研究室
東京藝術大学大学院美術研究科先端芸術表現専攻
日本大学大学院芸術学研究科映像芸術専攻
情報科学芸術大学院大学 [IAMAS]
Chelsea College of Arts
Slade School of Fine Art University College London
Berlin University of the Arts 他



<http://chokoku.musabi.ac.jp/>

彫刻学科研究室は作家である教員が、研究目標により様々なチームをつくる場合、あるいは個人として専門領域を深く指導する場合、あるいはひとつの問題に対して議論し合う場合など様々な動きのとれる柔軟な組織です。

The sculpture laboratory is staffed by artists who work flexibly to meet various needs, such as organizing diverse teams for research, sharing their individual expertise, and discussing relevant themes with students.





【主任教授 Chief Professor】

伊藤誠
ITO, Makoto

【教授 Professor】

黒川弘毅
KUROKAWA, Hirotake

三沢厚彦
MISAWA, Atsuhiko

【准教授 Associate Professor】

増井大裕
TOMII, Motohiro

【客員教授 Visiting Professor】

遠藤利克
ENDO, Toshikatsu

岡崎乾二郎
OKAZAKI, Kenjiro

棚田康司
TANADA, Koji

【助教 Assistant Professor】

門田訓和
KADOTA, Kunikazu

椋本真理子
MUKUMOTO, Mariko

【講師 Part-time Lecturer】

AKI, INOMATA
AKI, Inomata

アズビー・ブラウン
AZBY, Brown

牛島達治
USHIJIMA, Tatsuji

大野綾子
ONO, Ayako

オノラ・ルイジ
LUIGI, Honorat

桑名紗衣子
KUWANA, Saeko

杉浦藍
SUGIURA, Ai

高柳恵里
TAKAYANAGI, Eri

中野浩二
NAKANO, Koji

細井篤
HOSOI, Atsushi

丸山富之
MARUYAMA, Tomiyuki

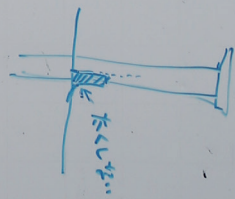
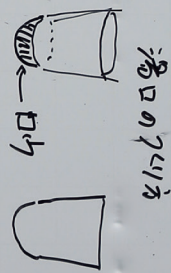
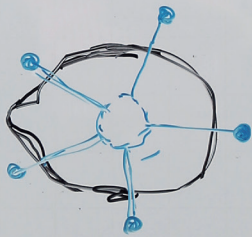
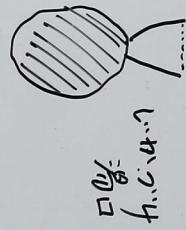
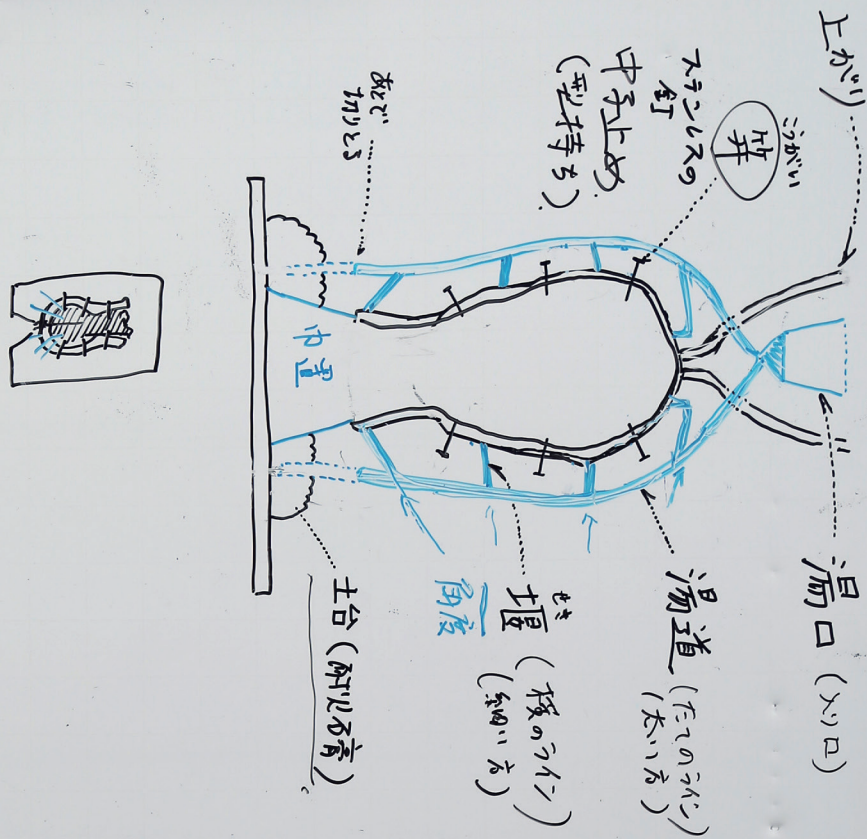
箕輪亜希子
MINOWA, Akiko

八木貴史
YAGI, Takafumi

【教務補助員 Laboratory Assistant】

増井のはら
MASUI, Nohara

増田智文
MASUDA, Tomofumi



8mm ナイフ
 18mm " }
 2本
 5本

接着剤 (Ketsushu)

